

所属	看護医療学部 臨床検査学科	職位	講師	氏名(学位)	大島 茂 (博士(医学))	
所属学会	日本分子生物学会、日本寄生虫学会、生物試料分析学会、日本臨床検査技師会、三重県臨床検査技師会					
専門領域	分子生物学 寄生虫学 遺伝子検査学					
研究テーマ	寄生虫の分子生物学解析に関する研究 出生前診断と不妊に関する研究					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫（授業評価等を含む）	授業では授業のはじめに前回の復習、小テストを行い学生にキーワードをしっかりと憶えさせ、レベルの確認をしている。実習、演習などにおいては学生の理解しやすいように実習書、資料を適宜配布している。できるだけ学生に考えさせる授業を心がけている。					
2 作成した教科書、教材、参考書	遺伝子・染色体検査学実習の目的、内容、実習における注意事項についての臨床検査学科 2022 年度遺伝子・染色体検査学実習書作成					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	特になし					
4 その他教育上特記すべき事項	公立大学法人名古屋市立大学医学部共同研究教育センターにて技術職員として大学院生、研究者に研究機器実技指導。名古屋市立大学共用機器センター員として大学全体の研究機器管理実技指導（1995 年 1 月～2020 年 3 月）					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文	Alternative oxidase (AOX) genes of African trypanosomes: phylogeny and evolution of AOX and plastid terminal oxidase families.	共著	2005 年 7 月	Journal of Eukaryotic Microbiology 2005 Jul-Aug;52(4)	編者：Suzuki T 共著者：Hashimoto T, Yabu Y, Majiwa PA, Ohshima S, Suzuki M, Lu S, Hato M, Kido Y, Sakamoto K, Nakamura K, Kita K, Ohta N. 1639- 47	374-81
学術論文	<i>Trypanosoma brucei</i> vacuolar protein sorting 41 (VPS41) is required for intracellular iron utilization and maintenance of normal cellular morphology.	共著	2007 年 10 月	Parasitology. 2007 Oct;134(Pt11):Epub 2007 Jun 19.	編者：Lu S 共著者：Suzuki T, Iizuka N, Ohshima S, Yabu Y, Suzuki M, Wen L, Ohta N.	1639-47
学術論文	TbUNC119 and its binding protein complex are essential for propagation, motility, and morphogenesis of <i>Trypanosoma brucei</i>	共著	2010 年 12 月	PLoS One 2010 Dec 22;5(12):e15577. doi: 10	編者：Ohshima S 共著者：OhashiSuzuki M, Miura Y, Yabu Y, Okada N, Ohta N, Suzuki T	e15577

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文	Differential kinetic activities of glycerol kinase among African trypanosome species: phylogenetic and therapeutic implications.	共著	2011年5月	Journal of Veterinary Medical Science 2011 May;73(5)	編者：OhashiSuzuki M 共著者：Yabu Y, Ohshima S, Nakamura K, Kido Y, Sakamoto K, Kita K, Ohta N, Suzuki T.	615-21
その他	健康と食に対する思想とワクチン接種の技術指導(序文)	単著	2023年3月	生物試料分析, 46(2), 2023(査読中)	編者：大島 茂	

III 主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
M2 macrophages differentiated from iPS cells have higher abilities to phagocytose and process calcium oxalate crystals than similarly induced M1 macrophages	共同	2020年5月	American Urological Association Annual Meeting 2020(web開催)
Induction of human iPS cell-derived M1 / M2 macrophages and comparison of phagocytic ability of calcium oxalate crystals by real-time imaging analysis	共同	2020年12月	第108回日本泌尿器科学会総会
次世代シーケンサーによるアニサキス共存ウイルスの網羅的解析	共同	2022年5月	第91回日本寄生虫学会大会（帯広市）
アニサキス属線虫と共生するウイルスの解析	共同	2022年10月	第81回日本寄生虫学会東日本支部大会・日本共生物学会第6回大会 合同大会（東京）
次世代シーケンサーによるアニサキス共存ウイルスの網羅的解析（第2報）, アニサキスのウイルス保有率の調査	共同	2023年3月	第92回日本寄生虫学会大会（金沢市）

IV 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
1993年4月～1995年3月	藤田保健衛生大学衛生学にて研究員として活動。宇宙開発事業団 IML-2 プロジェクト参加
1995年1月～2020年3月	スペースシャトルコロムビアにおける無重力実験プロジェクト員
2000年4月～現在	公立大学法人名古屋市立大学医学部共同研究教育センター技術職員
2022年3月	公立大学法人名古屋市立大学大学院医学研究科研究員
2021年7月～現在	生物試料分析学会実務委員 四日市看護医療大学新型コロナ PCR 実務担当者